

令和5年度 第3回 浜松市立西気賀小学校運営協議会 会議録（要点記録）

- 1 開催日時 令和5年11月21日（火） 13時25分から15時10分まで
- 2 開催場所 西気賀小学校 家庭科室
- 3 出席委員 柴田昌男、西岡由紀子、杉浦雅巳、藤原正己、小川正寛、中嶋雅子、
上嶋裕志、豊田晴世、名倉啓之
- 4 欠席委員 なし
- 5 学 校 村松昌彦（校長）、徳増弘宣（教頭）、間淵由利子（CSディレクター）
- 6 教育委員会 牧野知子（教育総務課）
- 7 傍 聴 者 なし
- 8 会議録作成者 CSディレクター 間淵由利子
- 9 議長の選出 議長の選出について前回委員会で藤原委員を推挙する旨の意見があり、
全員意義なくこれを承認した。

10 協議事項

- (1) 西気賀っ子に、どんな力が必要か？

※来年度どんなところに力を入れていく必要があるのか

11 会議記録

司会の徳増教頭から、委員総数9名全員の出席があるため、会議が成立している旨の報告があった。

12 熟議

*校長より手元資料を参照に学校の取り組みについての説明があった。

その後2グループに分かれグループディスカッションを行った。

各グループの討議内容は以下の通り

A グループ(柴田委員・藤原委員・小川委員・上嶋委員・豊田委員・村松校長)

- ・様々な体験を通した学習を行うのはどうか？現在行われている和船活動に加え、花を植える活動に参加したり、田植えや稲刈りなどを体験したりすることは総合学習能力向上のためにもいいと思う。
- ・灯笼流しや盆踊り、屋台等、地域での活動があれば子供たちも地域の人たちも集まって盛り上がるのではないかと？郷土愛をはぐくむ、という意味ではよいきっかけになるはず。
- ・子供たちに企画性を持って行動、生活をしてもらいたい。自分自身の将来に対する計画等につながると思うから常に計画性をもって行動できるようになればいいと思う。
- ・今後、様々な変化が起こりうるので、厳しさに耐える力も必要ではないかと。

B グループ(西岡委員・杉浦委員・中嶋委員・名倉委員・徳増教頭)

- ・学習面：英語が好きか？の問いに対し好きではない子供の割合が多いのが心配。地域柄英語を使う機会が少ないので困ることはないだろうが、日常的に英語にもっと触れる機会を増やすなどして英語が好きになるような環境、工夫が必要だと感じた。
- ・あいさつ：コミュニケーション能力につながるので子供同士でもあいさつについての話し合いをするのがいいと思う。

- ・英語にしても、あいさつにしても、自信のなさが関係しているのではないか。自己肯定感を高めるためにも、個々を認め合う（自分も認める）ことを学校でも家庭でもしていきたい。
- ・少人数ゆえに全体的に良くも悪くも競争心が薄いと思う。中学での生活が心配になる。
- ・西気賀の強みとして、環境がいいことがある。地の利を生かした学習、人の輪を生かした活動を大人からやっていけるといい。

13 その他連絡事項

① 持久走記録会

日時：令和5年12月20日（水）（予備日12月21日）9:00～9:45

場所：西気賀小学校運動場、サイクリングロード

② にしきがっ子発表会・懇談会

日時：令和6年2月9日（金）午後 西気賀小学校

③ 第4回学校運営協議会

日時：令和6年2月9日（金）15:00～16:00（変更の可能性あり）